

各 位

上場会社名	株式会社 東京機械製作所
代表者	代表取締役社長 都並 清史
(コード番号)	6335)
問合せ先責任者	執行役員管理本部長 中野 実
(TEL)	03-3451-8591)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,120	△370	△380	△410	△46.98
今回修正予想(B)	3,710	△5	240	146	16.83
増減額(B-A)	590	365	620	556	
増減率(%)	18.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,832	△610	△468	△510	△58.48

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,790	420	410	200	22.92
今回修正予想(B)	9,060	430	570	290	33.23
増減額(B-A)	270	10	160	90	
増減率(%)	3.0	2.3	39.0	45.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	6,858	△606	△384	△850	△97.50

#### 修正の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、輪転機の新規受注案件が売り上げに貢献したことや、保守メンテナンス関連の工事が順調に進み、売上高が期初計画と比べ前倒しで計上されたことから、売上高は期初の予想を上回る見込みです。

利益面においても、輪転機事業において期初の見込みより変動費率が低下したことや、固定費も見込みより減少したことなどにより、営業損益についても期初の予想を上回る見込みです。

営業外損益についても、大幅な円安の進行により為替差益の計上となることなどから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回公表数値を上回る見込みです。

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高および営業利益は、概ね計画通りと見込んでおりますが、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、円安の影響による為替差益の計上が見込まれることなどから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。